

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11098	2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	精神看護援助論Ⅰ (精神保健) (Mental Health & Psychiatric Nursing I)				
担当教員名	○廣島麻揚／秋山美紀／林世津子／阿達瞳				
授業の概要及び到達目標					
<p>本科目では、精神看護の実践の基礎となる、心のしくみと働き、心の発達と精神の健康問題、精神の健康問題が人々の生活に及ぼす影響、精神の健康問題に対する治療と看護、地域精神保健福祉サービス、精神保健福祉に関する法律と制度を学ぶ。授業方法は、講義を主として展開する。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神の健康概念と精神の健康問題について考察し、説明できる ・精神の健康問題に対する治療と看護の基本が説明できる ・精神保健福祉に関する法律および制度について、その歴史的背景を踏まえて理解し、説明できる ・精神医療保健福祉サービスにおける多職種の協働について説明できる。またその中で看護師が果たす役割を考察することができる 					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回シラバスを確認し、テキストの関連ページを探して読んだ上で参加すること。(必要目安時間：1時間×15回) ・加えて第11回の授業前には予習課題を出すので、必ず取り組んでから参加すること。(必要目安時間：2時間) ・毎回復習しておくこと。第2回目以降は、授業内容に沿った簡単なミニテストを実施する。(必要目安時間：2時間×15回) ・第4回、第14回、第15回の授業では、授業内容に関するレポート課題を出すので、必ず授業に出席すること。(必要目安時間：2時間) ・第12回の授業において、夏休みのビデオ学習課題を出す。ビデオ視聴などを通して本講義全体を復習し、精神看護援助論Ⅱおよび精神看護学実習に活かしてください。(必要目安時間：11時間) <p>※ビデオ学習に基づくレポートは後期の「精神看護援助論Ⅱ」において提出してもらう予定である。</p>					
成績評価の方法	<p>【筆記試験】85% (全授業の終了後に行う)</p> <p>【課題レポート】15% (5%×3回)</p> <p>：第4回、14回、15回の授業で課題を提示する</p>				
テキスト	<p>「精神看護の基礎〈1〉(系統看護学講座 専門分野)」(武井麻子：医学書院、2017) (ISBN:978-4260027731) ※</p> <p>「精神看護の展開〈2〉(系統看護学講座 専門分野)」(武井麻子：医学書院、2017) (ISBN:978-4260027748) ※</p>				

参考図書	<p>「学生のための精神医学 第3版」(太田保之他編:医歯薬出版株式会社、2014) ※</p> <p>「生涯人間発達論 第2版—人間への深い理解と愛情を育むために」(服部祥子:医学書院、2010) ※</p> <p>ビデオ「ビューティフル・マインド」※「路上のソリスト」※「カッコウの巣の上で」※「17歳のカルテ」※「普通の人々」※「レインマン」※「恋愛小説家」※</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目の単位取得は、精神看護学実習の前提条件になっている。 ・本科目は、「精神看護援助論Ⅱ」の受講前に履修していることが望ましい。 ・各教員のオフィスアワーについては、看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。 ・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 ・講義内に実施するミニテストは、実施後、回答を提示しますので、振り返り学修に活用する等よく復習した上で試験に望んでください。
授 業 計 画	
第1回	<p>精神保健とは/心のしくみと働き (廣島)</p> <p>第2回 心の発達と精神の健康問題①思春期まで (廣島)</p> <p>第3回 心の発達と精神の健康問題②思春期以降 (廣島)</p> <p>第4回 精神の健康概念と精神疾患 (廣島)</p> <p>第5回 精神の健康問題を持つ人の看護①:統合失調症の診断と治療 (阿達)</p> <p>第6回 精神の健康問題を持つ人の看護②:統合失調症の急性期・回復期・慢性期看護 (廣島)</p> <p>第7回 精神の健康問題を持つ人の看護③:気分障害の診断と治療, および看護と関わり方 (秋山)</p> <p>第8回 精神の健康問題を持つ人の看護④:神経症性障害・ストレス関連障害・身体表現性障害の診断と治療, および看護と関わり方 (秋山)</p> <p>第9回 精神の健康問題を持つ人の看護⑤:摂食障害・アルコール依存症の診断と治療, および看護と関わり方 (秋山)</p> <p>第10回 精神の健康問題を持つ人の看護⑥:パーソナリティ障害・発達障害・器質性精神障害の診断と治療, および看護と関わり方 (林)</p> <p>第11回 精神保健福祉に関する法律と制度 (林)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を踏まえた法律・制度の成り立ち ・精神保健福祉法の目的と内容 <p>第12回 地域精神保健福祉サービス (林)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職による連携支援 (精神科デイケア・精神科訪問看護/ACT他) ・生活支援と就労支援 (障害者総合支援法のサービスを中心に) <p>第13回 リエゾン精神看護 (廣島)</p> <p>第14回 精神科リハビリテーションと看護① (廣島・精神保健福祉士)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域精神保健福祉 (地域でその人らしい生き方を支えるとは?) <p>第15回 精神科リハビリテーションと看護② (廣島・専門看護師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院支援